

# 森の川自然散歩

2018年7月号



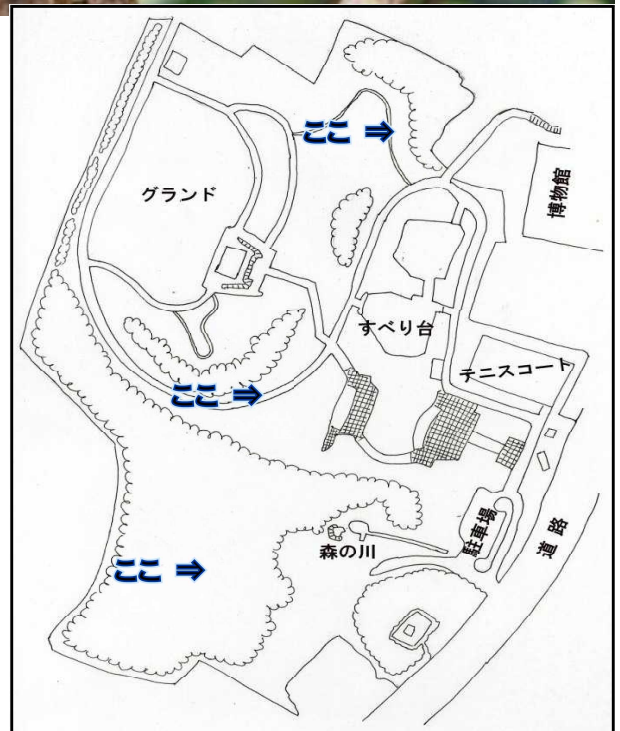
夏だ！セミだ！うるさくなってきたぞ！！

上：ホルトノキの幹にとまるクマゼミのオス。

左上：リュウキュウアブラゼミ。方言ではナービカチカチーといいます。

## クマゼミ（メモ）▶▶▶

- 体長は約 50mm で、日本で一番大きなセミです。そして、おそらく日本で一番うるさいセミでもあります。
- 森川公園では、6 月下旬あたりから鳴き声が聞こえ始め、夏の間ずっと鳴いています。
- クマゼミは明るいところが好きなので、公園内の遊歩道を歩いても、周辺の木々の幹にとまっているのを見つけることができます。
- リュウキュウアブラゼミは少し暗い所が好きなので、森の中へ入っていかないと見つけれません。
- 二つのセミの鳴き声と一緒に夏がやって来ます。





# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。



## (17) 大きな木の根元の穴は何だ？

公園内の遊歩道を散歩していると、ガジュマルやアコウといった大きな木の根元に小さな？穴を見つけることがあります。特に、夏場の時期に多いようです。

さて、ここで質問です。この穴は、一体何でしょうか？。……。実はこの穴は、セミの幼虫が羽化するために地中から出てきた穴なのです。直径10mmの大きめの穴はクマゼミ、それより少し小さめの穴はアブラゼミかもしれませんね。

セミの幼虫たちは、夜中に真っ暗な地中から出てきて、近くの木の幹や植物などにはい上がって羽化します。成虫になって、初めて見る明るい地上は、セミたちには、どんな世界に見えるのでしょうか。

左:ガジュマルの根元に空いた謎の穴。

# 森川公園7月の花ごよみ

## 夜に香り立つ ～ サガリバナ ～

- 森の川の泉の入口に、三本だけ生えています。花が咲いていないと目立たないし、花そのものが夜に咲くので、気がつかない人も多いかも。
- 奄美大島以南の島では普通に見られます。湿地や川沿いによく生えることから、一昔前には、田んぼの畦の補強や境界としても植えられていました。最近は、公園などにも植えられています。
- 高さは3～10mで、葉の長さは10～40cmになります。6月から7月に、長く垂れ下がった房状の花を咲かせます。
- 花が咲いていると、とてもいい香りが漂っているのですぐ分かります。サワフジとかキーフジと呼ばれることもあります。 **右:沖縄市美里で咲いたサガリバナ。**



博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。  
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1  
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

